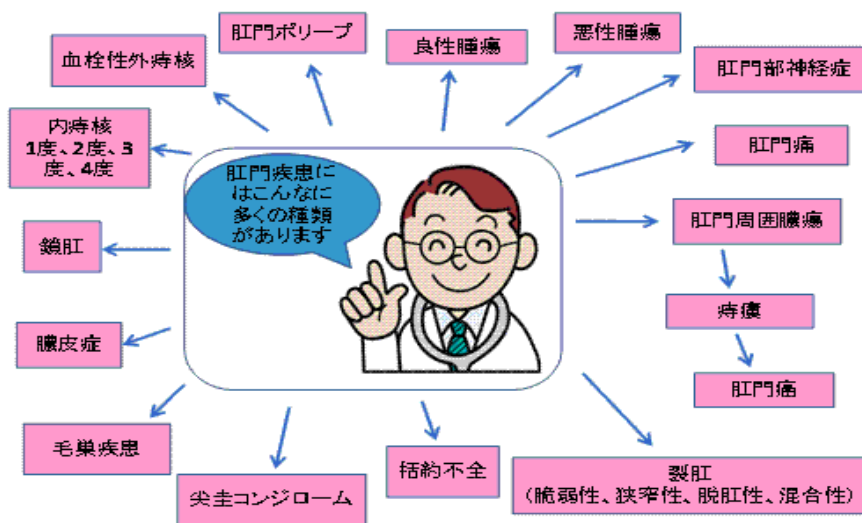


肛門専門外来オープン

専門外来を担当する岩川和秀大腸肛門外科医長は、数少ない肛門外科の専門医であり、大腸肛門病専門施設での勤務を含め、これまで約 1000 例の肛門外科治療の経験を有しています。また当院は岩垣副院長赴任後の平成 20 年福山市唯一の日本大腸肛門病学会の専門医修練施設に認定されました。旧来の暗く痛そうな肛門治療のイメージを脱却し苦痛の少ない質の高い医療を心がけていきたいと岩川医長は語っています。外来診察は毎週月曜日午後予約なしで行っていますので、肛門に関する事なら何でも気軽に相談いただければ幸いです。

おしりの病気 No.1



当院では 4 月より肛門外科専門医による肛門専門外来を開設しましたので紹介します。肛門疾患は歯や眼と並ぶ最もポピュラーな疾患で、古代エジプトや古代インドの医書からすでに記載されており、日本人の半数がいわゆる「痔」に悩んでいるといわれています。いつの時代でもお尻を他人に見せるのは恥ずかしいと

いう羞恥心からかいつまでも我慢し悩み続けることが多いようで、かのナポレオンは血栓性外痔核の痛みのため鋭い指揮力も鈍り、ワーテルローの戦いに敗れ島に流され、裂肛の痛みに襲われた松尾芭蕉は西国への行脚を断念したといわれています。もし当時に適切な治療が行われていれば(当時肛門の専門医はいないでしょうが)、ナポレオンの遠征も広がり支配地図も変わっていたでしょうし、芭蕉の奥の細道も長く連載されていたかもしれません。

肛門は消化管の出口に位置しますが、驚くほどの繊細な機能を有しています。普段は意識していませんが便の性状、つまり固形、液状、ガスを識別し、それぞれ安全に排出することができます。また便を出し切った状態が消化器機能の集大成であり、テストでいうところの総合点にあたります。その点数に偏りや不備があると肛門にその負担がかかり、長期に及ぶと病的な状態を引き起こします。肛門領域はただかだか5cmほどの狭い範囲ですが図のように非常に多種類の疾患が含まれており、簡単な外用薬などで治るものばかりではありません。肛門と腸管に関する専門的知識と治療経験が必要とされるゆえんでもあります。